

④⑩ 税務初任者 研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 地方税の賦課徴収実務に必要な基本的な知識
(地方税法総則及び個別税目の通則関係の知識)

**日 時：令和7年6月26日（木）9：20～16：30
～27日（金）9：30～16：30**

会 場：web

対象者：税務を担当して1年目の職員（定員 60名）

※1年目以降の職員も受講可能です。

◆申込締切日 令和7年5月26日（月）

〈研修内容〉

1日目

- 1 市町村税のあらまし
- 2 地方税法と条例の関係
- 3 徴税吏員の職務権限
- 4 納税義務の成立と確定及び納期限（課税事務のあらましを含む）
- 5 賦課権と徴収権
- 6 分納、猶予制度、滞納処分等（徴収事務のあらましを含む）
- 7 還付等
- 8 書類の送達

2日目

- 9 守秘義務
- 10 不服申立て等
- 11 相続による納税義務の承継（固定資産税の死亡者課税問題を含む）
- 12 共有不動産に係る固定資産税の連帯納税義務



講師 齋藤 博史氏より一言

地方税の賦課徴収業務を担当するに当たっては、地方税法の通則的な規定（地方税法総則と個別税目の通則的規定）を理解することが必要不可欠です。そして、この分野は民法や行政法と関わる事項が数多くあります。いうまでもなく民法や行政法は地方公務員として身に付けておくべき基本的な法律です。本研修が、地方税賦課徴収の実務とともに、これら基本法を学ぶ絶好の機会として活用されることを強く期待します。

④1 入札契約事務制度 研修

関連する研修

⑭ 財務事務研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 透明・公正な契約過程確保の確認
- ◆ 契約関連法や根拠法の知識と契約に関する諸問題への適正な対応方法

日 時：令和7年12月19日（金）9：20～16：30

会 場：web

対象者：入札・契約を担当する職員（定員 80名）

◆ 申込締切日 令和7年11月19日（水）

〈研修内容〉

- 1 地方財務会計制度
- 2 地方公共団体の活動と契約
- 3 地方公共団体の契約と財務
- 4 契約締結の意義
- 5 契約に関する基本ルール
- 6 地方公共団体による契約締結方法
- 7 一般競争入札による契約締結
- 8 指名競争入札による契約締結
- 9 随意契約による契約締結
- 10 各種の契約
- 11 契約の効力が発生するまでの過程
- 12 契約の履行過程における問題
- 13 契約締結にあたっての留意点
- 14 契約終了段階の事務
- 15 契約の変更に関する実務
- 16 請負契約の実務
- 17 業務委託契約の実務
- 18 リース契約について
- 19 契約書の点検作業
- 20 契約に関する紛争（裁判例紹介）

講師 伊藤 義文氏より一言



地方公共団体において、契約は、一般民事法上の規律のみならず、地方公共団体特有の法的、財政的規律があります。これらを理解し、適切な契約事務を進めて頂けるようになればと考えております。

④② 人事管理 研修

関連する研修

- ㊸メンタルヘルス研修
- ㊹ハラスメント防止研修
- ㊺働き方改革研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 労務管理の基本的なスキル
- ◆ 職場マネジメント上の人事リスクを回避するスキル
- ◆ ハラスメント等の正しい知識に基づく部下指導スキル

日 時：令和7年4月23日（水）13：30～16：30

会 場：web

対象者：係長級以上の職員もしくは人事担当職員（定員50名）

◆申込締切日 令和7年4月10日（月）

〈研修内容〉

- 1 労務管理の知識の必要性

- 2 労基法等
 - 地方公務員と労基法
 - 労基法の基本と勤務の関係
 - 労働時間・休憩・休日
 - 育児介護休業法等の理解

- 3 労働施策総合推進法
 - ハラスメントの知識
 - パワハラにならない部下指導
 - メンタルヘルスの知識

- 4 研修全体のまとめ



講師 山口 貞利氏より一言

労務管理は、管理職にとって必須の知識です。これを知らずに、管理職という役割を行うことは、交通ルールを学習せずに、運転免許の保有もなしに、自動車を運転するようなものです。逆に知っておけば、交通事故の回避もできますし、効果的に効率的に目的地まで到達できます。今までよりも確実に管理職としての自信が高まります。よって、研修後も復習を行って確実に日常で活用できるようにして下さい。

④③採用面接 研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 職員採用を行う上での基礎知識・心構え等
- ◆ 職員採用を行う上での具体的な施策やその留意点等

日 時：令和7年7月25日（金）9：20～16：30
会 場：佐賀県市町会館「市町職員研修センター」3階 大会議室
対象者：職員採用担当職員（定員 30名）
◆申込締切日 令和7年5月26日（月）

〈研修内容〉

※ 参加者へのアンケートを経て検討いたしますが、下記を想定しています。

- 1 採用マーケットの理解・基礎知識の説明
- 2 採用手法の選択肢や違い
- 3 採用における留意点・テクニック等具体的な内容の説明



講師 桑原 孝典氏より一言

採用難・労働力不足が叫ばれる中、人事として何を考えるべきかの心構えから、実際取りうる採用手法の選択肢・具体的な留意点やテクニックについてご説明いたします。

④④ 佐賀の食と農の流通・ブランディング 研修

〈本研修で習得を目指すスキル〉

- ◆ 農水産食品の最近のトレンド情勢・変わりゆく流通への対応
- ◆ 農水産食品の地場特産品のブランド力向上
- ◆ 地域産品の売込 PR や販路拡大へのヒント
- ◆ 地域の強みを生かした生産者や事業者の支援の在り方
- ◆ 行政としてのサポート手法、施策への活かし方

日 時：①令和7年5月14日（水）14：00～16：30

②令和7年6月 2日（月）14：00～16：30

③1泊2日東京視察：6月中旬～9月頃

④11月頃

会 場：第1回、2回、4回 佐賀県市町会館2階 小会議室

第3回 東京の流通視察プログラム

対象者：関係部署及び意欲のある職員（定員20名）

◆ 申込締切日 令和7年4月25日（金）

〈研修内容〉

- 行政として、農水産・食品のブランディング・国内流通について、サポート施策を策定・実施するために必要な基礎知識を網羅的に習得。

第1回：農林水産・食品の流通基礎講座～小売店に行くのが楽しくなる！

第2回：食の流通ブランディング基礎講座～食の世界が面白くなる！

第3回：講師による東京都心部における食の流通最先端を巡回視察。

（視察先例：最高級な百貨店食品・著名果物店・イタリアブランド食品

・オーガニック青果物店・複数の自治体アンテナショップ・大田市場、

著名イタリアレストラン総料理長による地域食材の活かし方体験講座等。）

※第3回のみでの参加はできません。

第4回：担当業務に活かす・地元地域にどのように活かすか

講師 江口 慎一氏より一言



農水産品・食品の最近のトレンド情勢、産品の付加価値化・差別化（ブランディング）、支援対象である生産事業者の現場ニーズの多様化・高度化などを学びつつ、参考となる自治体等の取り組み、具体的な事例研究、流通ブランディングの実務現場の話などを通じて、近年大きく変遷する農水産・食品流通の荒波の中、今ある地元の経営資源でどのように取り組むのか、行政として必要なサポート手法等についての理解、見識を深めていただきます。

本講座では、第1回・第2回で必要な基礎知識を習得した上で、第3回では実際に流通の最新現場の実地視察（講師による逐次解説付き）、第4回では実際に地元でどのように施策として活かすかを学ぶ構成となっています。

地元の事を一番近くでご存じであるからこそ、市町ならでは、市町にしかできない地域活性化、顔の見える地場産業支援があります。まさに自治体職員としての醍醐味であり、参加者の皆様が現場や生産事業者さんを通じた目に見えるやりがい、うまくいった時の喜びを得られるような研究会にしたいと思います。